

2020年3月期第1四半期 会社説明資料

 日本タンゲステン株式会社

証券コード：6998

1. 会社概要
2. 事業内容
3. 業績の概要（2020年3月期第1四半期）
4. 剰余金の配当、配当方針
5. 2020中期経営計画
6. 株式の状況

- 1. 会社概要**
2. 事業内容
3. 業績の概要（2020年3月期第1四半期）
4. 剰余金の配当、配当方針
5. 2020中期経営計画
6. 株式の状況

会社概要

社名	日本タングステン株式会社（証券コード：6998）
創立	1931年4月1日（創立88周年）
本社	福岡市博多区美野島1丁目2番8号
代表	取締役社長 後藤 信志
事業内容	<ol style="list-style-type: none">1. タングステン、モリブデン、その他の金属の精製加工並びに販売2. ファインセラミックその他窯業製品の製造並びに販売3. 不動産の賃貸および管理4. 太陽光発電事業
資本金	25億950万円
売上高	126億円（連結 2019.03現在）
従業員数	497人（連結 2019.03現在）
発行株式総数	2,577千株
株主数	3,099名（2019.03現在）
株式市場	東証（第2部）、福証

創業までの経緯

当社の創立者の一人である秋山英二は、1920年4月、タングステンの有望性に着目、新生の日本冶金(株)(東邦金属(株)の前身)に移り、ここでアメリカから招かれた技術顧問ロジャース氏の指導を受け、この分野で日本有数の技術者となります。

1930年春、秋山は照明用タングステン線を製造する会社設立の構想を抱き、1931年4月1日に操業開始しました。



若き日の秋山英二



1931年
創業当時の工場全景
(福岡市住吉)



現在 本社ビル
(博多区美野島)

タングステンとは？

スウェーデン語で「**重い石**」を意味する金属です。

その名のとおり「重い」という特徴を含め、次の特徴があります。

タングステンの特徴

1



熱に強い！

鉄は約 1 5 0 0 °C で溶ける。
タングstenは 3 3 8 0 °C で溶ける！

2



硬い！

炭素とくっつくと非常に硬くなる！
ダイヤモンドに次ぐ硬さ！

3



重い！

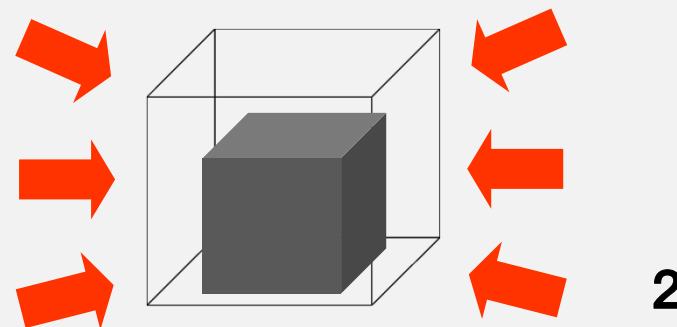
同じ大きさの鉄の 2.5 倍、鉛の 1.7 倍。
金とほぼ同じ重さ。

粉末冶金製品の製造工程

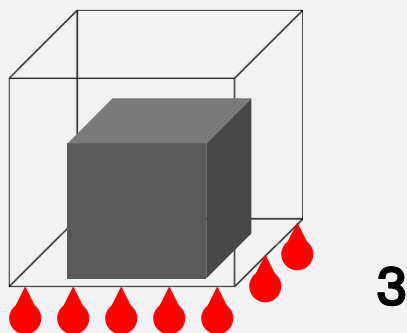
粉末・混合



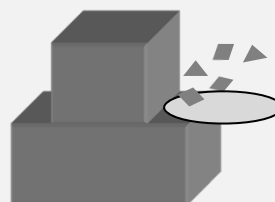
成形



焼結



加工



製品形状



当社の製品開発史

粉末冶金技術

1930年代



金属材料製品
(W製品)



電気・電子製品
(W合金)

1950年代



超硬合金製品
(WC合金)

1970年代

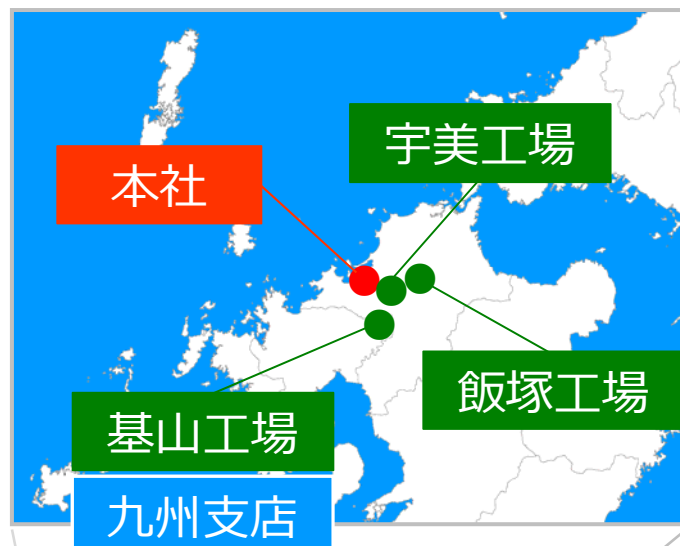


セラミック製品
(セラ材料)

国内事業所



本社



基山工場



飯塚工場
(金属材料製品)

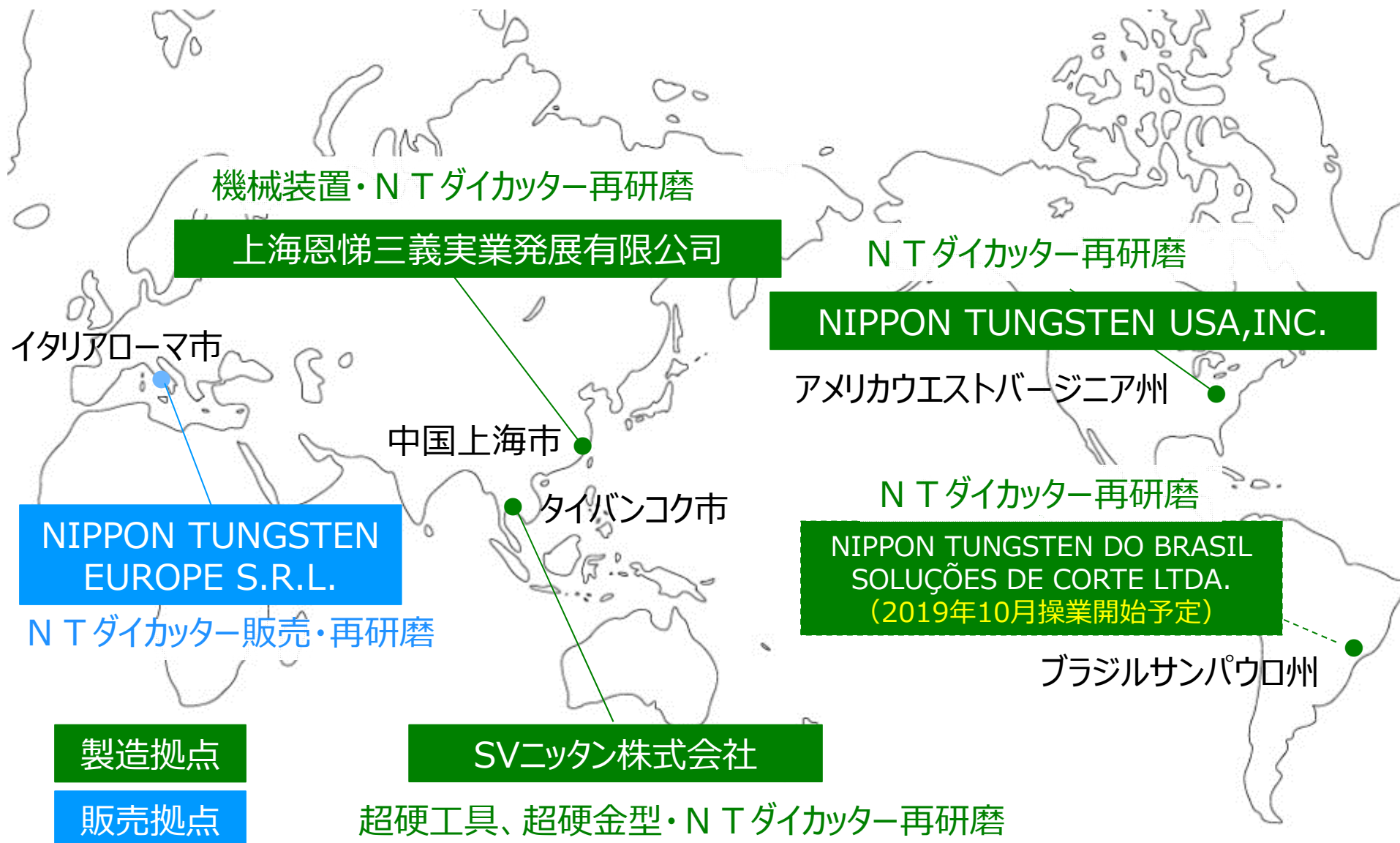


宇美工場
(磁気ヘッド基板)

製造拠点

販売拠点

海外事業拠点



1. 会社概要
- 2. 事業内容**
3. 業績の概要（2020年3月期第1四半期）
4. 剰余金の配当、配当方針
5. 2020中期経営計画
6. 株式の状況

当社の事業ドメインと製品

■ 衛生用品

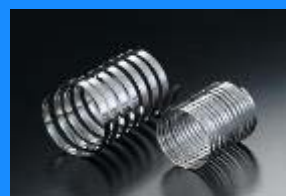


世界シェア 30%
(当社調べ)



NTダイカッター

■ 医療



タングステンリボン

■ 半導体



真空
チャック

■ インフラ



電力開閉装置
用電極

■ 自動車



抵抗溶接用
電極

■ 電子部品



世界シェア 75%
(当社調べ)



ハードディスク
ドライブ用
磁気ヘッド基板

■ エネルギー



耐食・
耐摩耗製品

■ 産業機器



ウルトラ
ファインバブル
クーラントシステム

当社の事業構成および主要製品

セグメント別の主要製品

機械部品事業 (売上比率57%)

■ 衛生



NTダイカッター

■ エネルギー



耐食・
耐摩耗製品

半導

■ 半導



真空
チャック

■ 電子部品



ハードディスク
ドライブ用
磁気ヘッド基板

■ 産業機



ウルトラ
ファインバブル
クーラントシステム

電機部品事業 (売上比率43%)

■ 医療



タングステンリボン

■ 自動車



抵抗溶接用
電極



EV用接点

■ インフラ



電力開閉装置
用電極

超硬合金製品

Cemented carbide material products

金属の強靭さとセラミックスの耐摩耗性を合わせ持った超硬合金を製造しています。オリジナル耐摩耗・耐食性超硬と精密技術が特徴です。

超硬合金製切断工具



用途例：N T ダイカッター

長尺超硬製品（コーターバー）



用途例：液晶製造用塗布ヘッド

耐食・耐摩耗製品



用途例：産業用ポンプ

高温成形金型



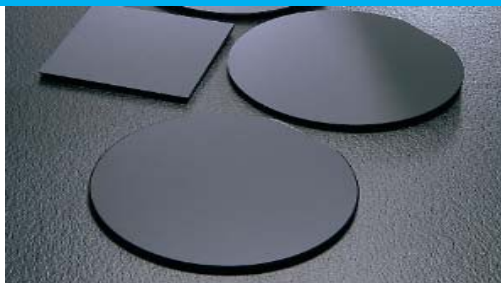
用途例：ガラスレンズモールド

セラミックス製品

Ceramic material products

高強度、耐食性、耐摩耗性に優れたセラミックス製品。粉末冶金技術を駆使したオリジナル複合セラミックスを製造しております。

磁気ヘッド基板用セラミックス



用途例：ハードディスクドライブ

耐プラズマ材料製品



用途例：半導体製造装置部材

造管用セラミックロール



用途例：鋼管製造用ガイドロール

多孔質セラミック真空チャック



用途例：フィルム検査・搬送装置

金属材料製品

Metallic Material (W/Mo) Products

タングステンの持つ高い耐熱性、電気特性を利用したハロゲンランプ用ワイヤー、自動車球用ランプ、OA機器用（プロジェクターランプ用ワイヤー）、医療用（カテーテル）、ヒーター用等を製造しています。

タングステンリボン



用途例：カテーテル

タングステンワイヤー



用途例：電球のフィラメント

タングステン棒



用途例：放電灯用電極
抵抗溶接用電極

コロナ放電タングステンワイヤー



用途例：空気清浄機用部材

電気・電子材料製品

Electric and Electronic Parts Material Products

スイッチの接点、抵抗溶接用電極、EVリレー用接点等の用途として、電気伝導性に優れた銀や銅と、耐熱性に優れたタングステンを組合せた複合材料を提供しています。

抵抗溶接用電極



用途例：自動車用電装部品用

プラズマ電極



用途例：プラズマ溶射用電極

開閉器用接点・電極



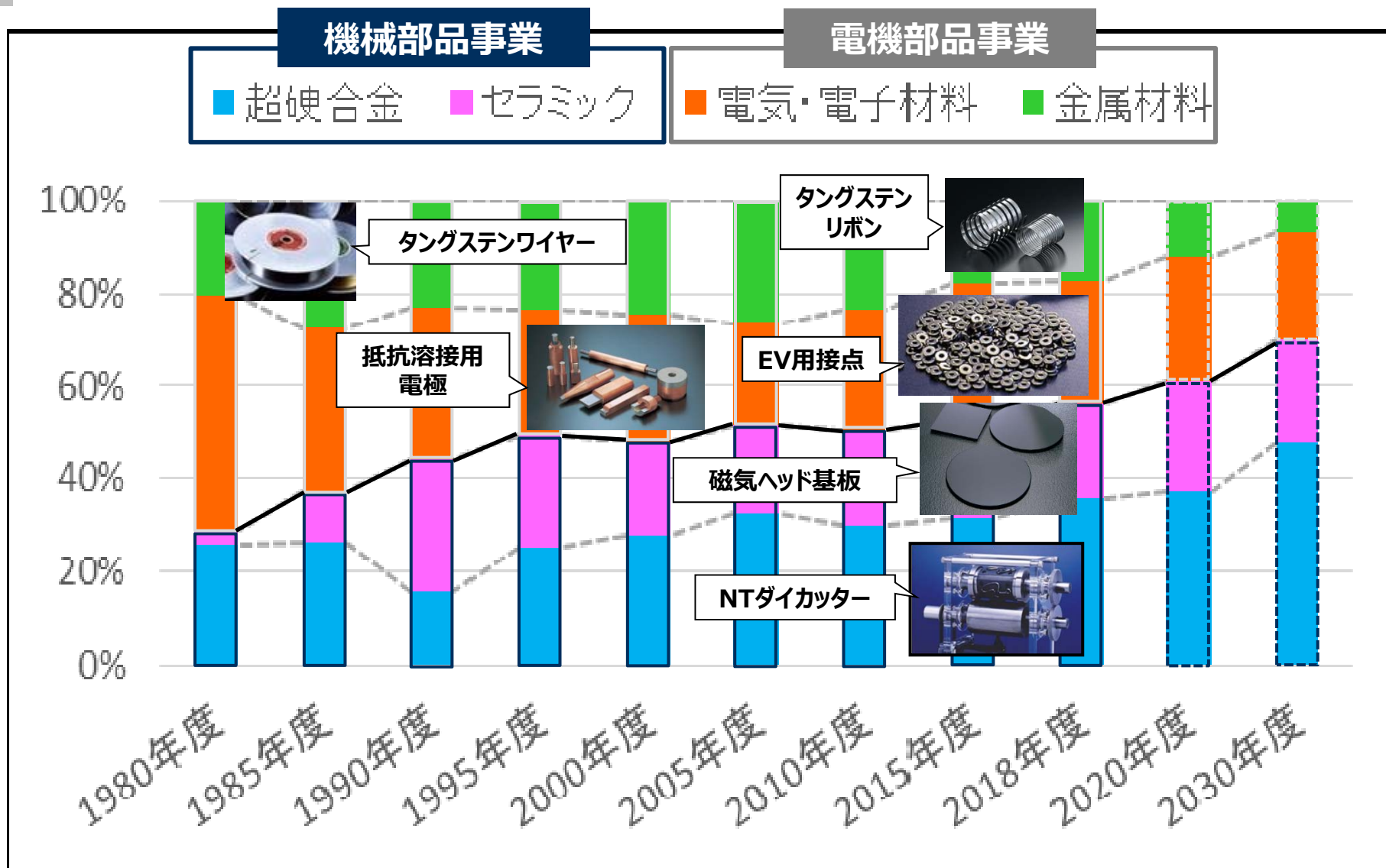
用途例：ガス遮断器用接点

ヘビーアロイ



用途例：放射線遮へい材
 balancer用錘

セグメント別売上高比率の推移



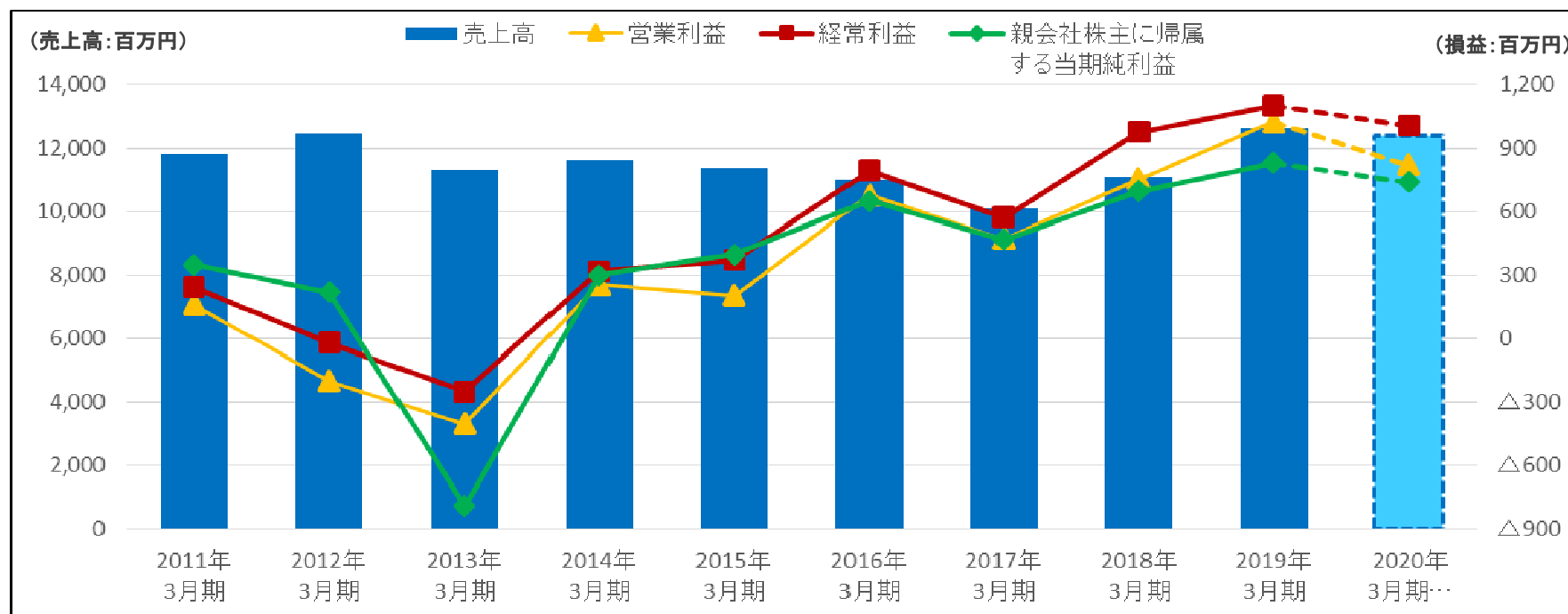
売上高比率の推移

1. 会社概要
2. 事業内容
- 3. 業績の概要（2020年3月期第1四半期）**
4. 剰余金の配当、配当方針
5. 2020中期経営計画
6. 株式の状況

業績の推移 (連結)

連結通期業績 (予想) 推移表	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期 (予想)
売上高 (百万円)	11,022	10,124	11,102	12,651	12,400
営業利益 (百万円)	678	473	755	1,029	820
経常利益 (百万円)	795	575	980	1,105	1,010
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	651	469	696	831	740
1株当たり当期純利益 (円)	266.45	195.02	288.51	342.80	304.81

■ 売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

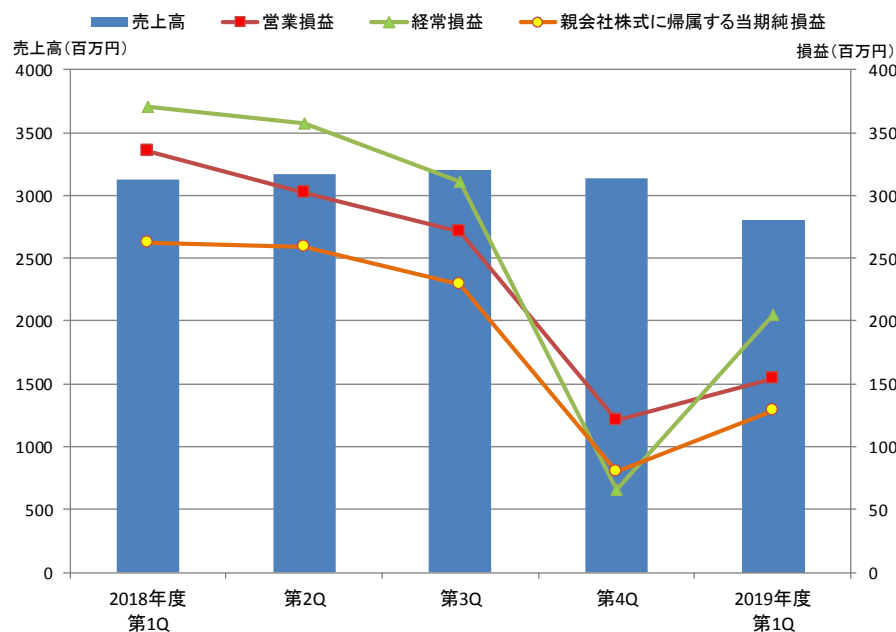


業績の概要 (2020年3月期第1四半期)

● 損益の状況

(単位:百万円)

	2019年3月期 第1四半期(百分比)	2020年3月期 第1四半期(百分比)	対前年比 増減額 (増減率)
売上高	3,126 (100.0%)	2,811 (100.0%)	△314 (△10.1%)
営業利益	335 (10.7%)	154 (5.5%)	△180 (△53.8%)
経常利益	370 (11.9%)	205 (7.3%)	△165 (△44.7%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	262 (8.4%)	129 (4.6%)	△133 (△50.9%)



《当第1四半期の概況》

・機械部品事業

前期好調の海外向けNTダイカッターが顧客の設備投資抑制等により低調に推移し、売上、損益ともに悪化

・電機部品事業

売上はほぼ横ばいも電極・EV用接点の増収等で損益は改善

・全体では減収・減益

セグメント別業績の概要

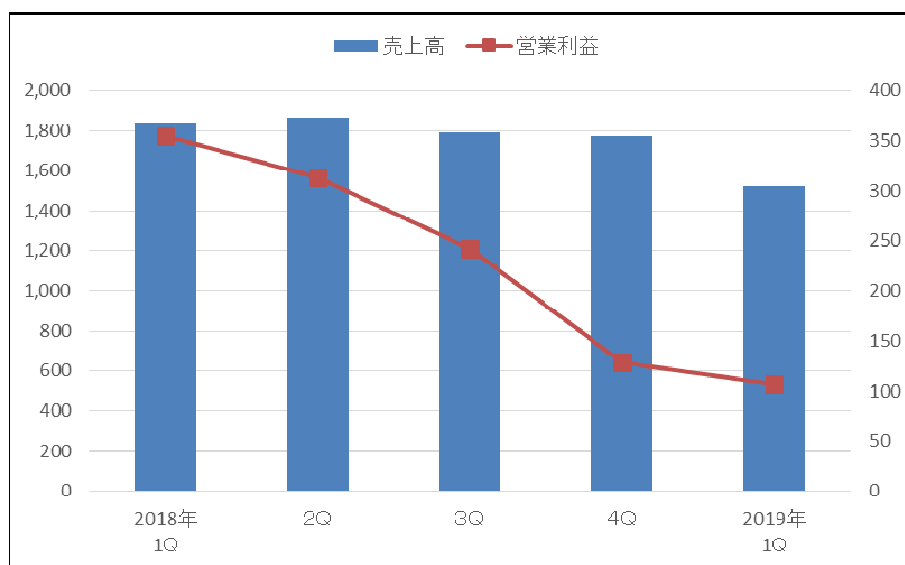
●セグメント別の四半期損益の推移

(単位:百万円)

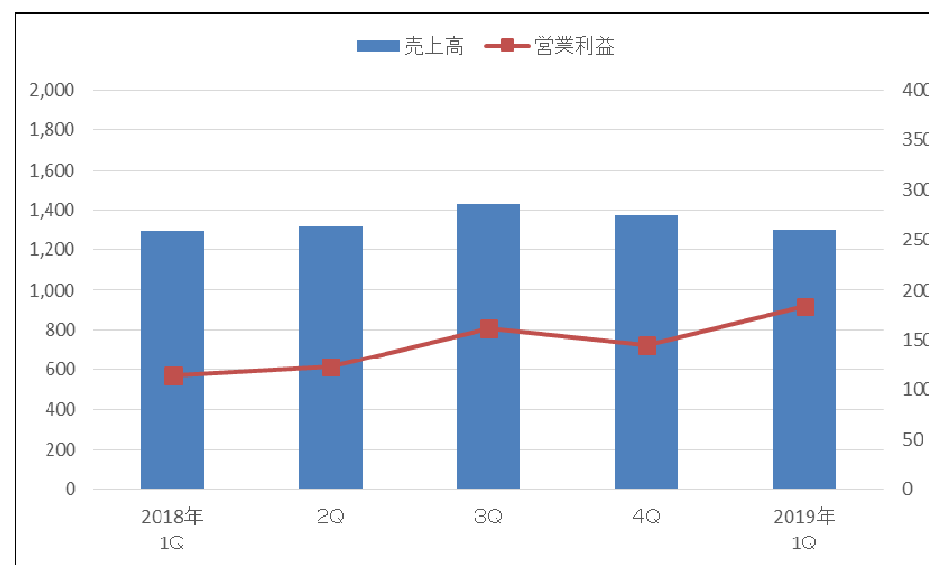
セグメント	項目	2019年3月期 第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	2020年3月期 第1四半期
機械部品 事業	売上高	1,839	1,866	1,792	1,771	1,522
	営業利益	355	313	242	128	107
電機部品 事業	売上高	1,296	1,319	1,429	1,375	1,302
	営業利益	114	123	161	145	183

※ 売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額

機械部品事業



電機部品事業



機械部品事業

	2019年3月期第1四半期	2020年3月期第1四半期	対前年四半期比
売上高 (百万円)	1,839	1,522	△316 (△17.2%)
営業利益 (百万円)	355	107	△248 (△69.8%)

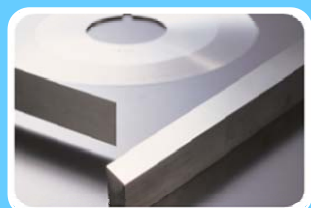
※売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額



情報機器関連のハードディスクドライブ(HDD)用磁気ヘッド基板
・前年並みで推移



衛生用品関連のNTダイカッター
・海外向けが顧客の設備投資の抑制等により低調



液晶・電池関連の治工具製品
・海外向けで前年の反動減により減収

電機部品事業

	2019年3月期第1四半期	2020年3月期第1四半期	対前年四半期比
売上高 (百万円)	1,296	1,302	5 (0.4%)
営業利益 (百万円)	114	183	68 (60.0%)

※売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額



自動車関連の接点製品及び電極製品

- ・電気自動車市場の拡大を受け増収



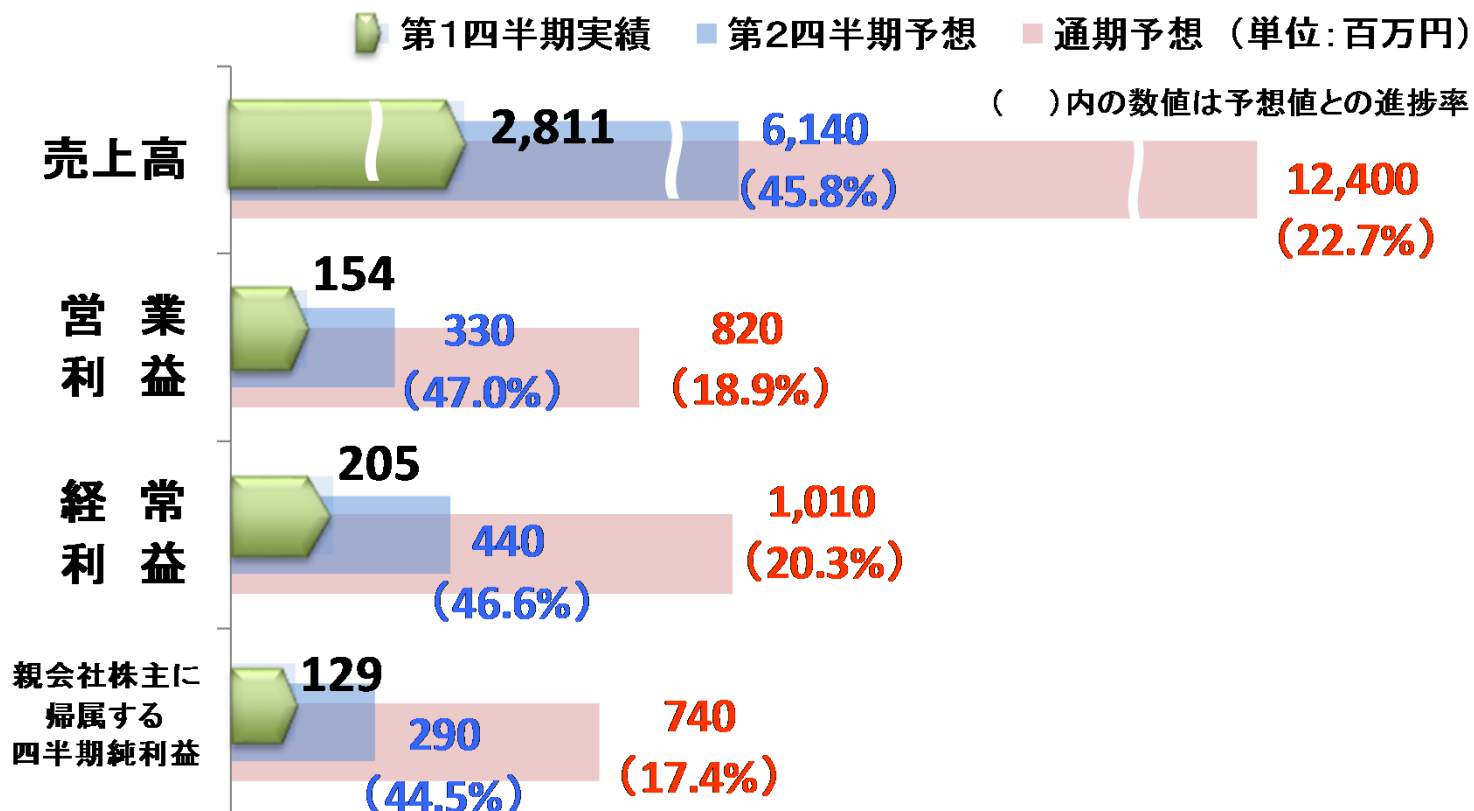
タングステンワイヤー製品

- ・医療関連のカテーテル用が伸長
- ・照明関連は車載用が減収

今後の経済見通しにつきましては、米中貿易摩擦の長期化及び中国経済の減速等、先行き不透明な状況が続くことが予想されます。

当社グループの注力市場につきましても、市場動向に対して慎重な見方が必要ですが、現段階では、**2020年3月期の業績予想は、2019年5月16日に公表いたしました予想から変更はありません。**

連結業績予想数値(2019年5月16日公表)と進捗率



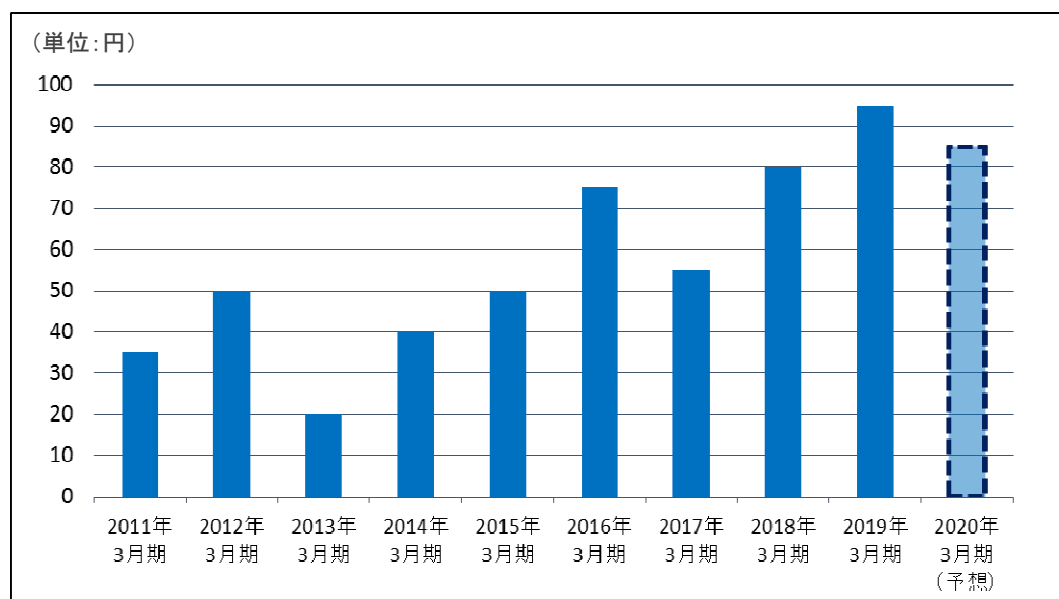
1. 会社概要
2. 事業内容
3. 業績の概要（2020年3月期第1四半期）
- 4. 剰余金の配当、配当方針**
5. 2020中期経営計画
6. 株式の状況

剰余金の配当、配当方針

中間配当金予想は**40円**、期末配当金予想は**45円**
年間配当予想は、**1株当たり85円**となります

	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想
中間配当金	円 銭 40 00	円 銭 40 00
期末配当金	円 銭 55 00	円 銭 45 00
年間配当金	円 銭 95 00	円 銭 85 00
1株当たり 当期純利益	円 銭 342 80	円 銭 304 81
配当性向	27.7%	27.9%

●10年間の配当金の推移



【配当方針】

当社は株主の皆様への利益還元について、親会社株主に帰属する当期純利益の30%を目安に、新商品開発を推進するための設備・人財・研究などへの戦略的投資、中長期的な財務体質の強化等を勘案しつつ、安定的・継続的な配当に努める。

1. 会社概要
2. 事業内容
3. 業績の概要（2020年3月期第1四半期）
4. 剰余金の配当、配当方針
- 5. 2020中期経営計画**
6. 株式の状況

2020中期経営計画

2020中期経営計画では4つの基本方針を設定し、最終目標の達成に向けて重点項目について各施策を実行してまいります。

●基本方針

1 人財の育成

自発的に考え、行動する社員の育成

幅広い視点から深く考える人財を育成し、
個人だけでなく組織の課題設定力・課題解決力を
向上させていきます

2 新商品の創出

お客様のニーズをいち早くつかみ、 継続的かつスピーディに新商品を創出

新商品の創出活動を活性化させ、
NO.1の価値創造に挑戦します

3 ものづくりの強化

お客様に満足していただける良いものを 安く、早くつくる、ものづくり力

生産効率の向上、コストの削減、品質の安定を図り、
収益拡大を目指します

4 グローバル市場での拡販

グローバルネットワークの拡大

世界中のお客様へ向けたサービスの提供、販売、
製造体制を確立し、売上拡大を目指します

2020中期経営計画

● 計数計画

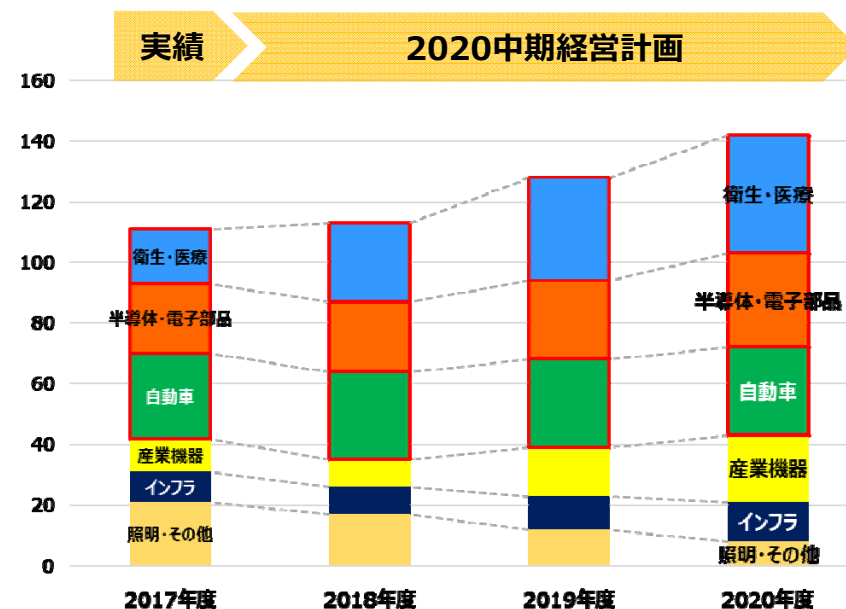
2020(最終)年度に目指す指標

連結売上高	142億円
連結営業利益	12億円
R O E	8.3%

5市場別の連結売上高目標

(単位：億円)

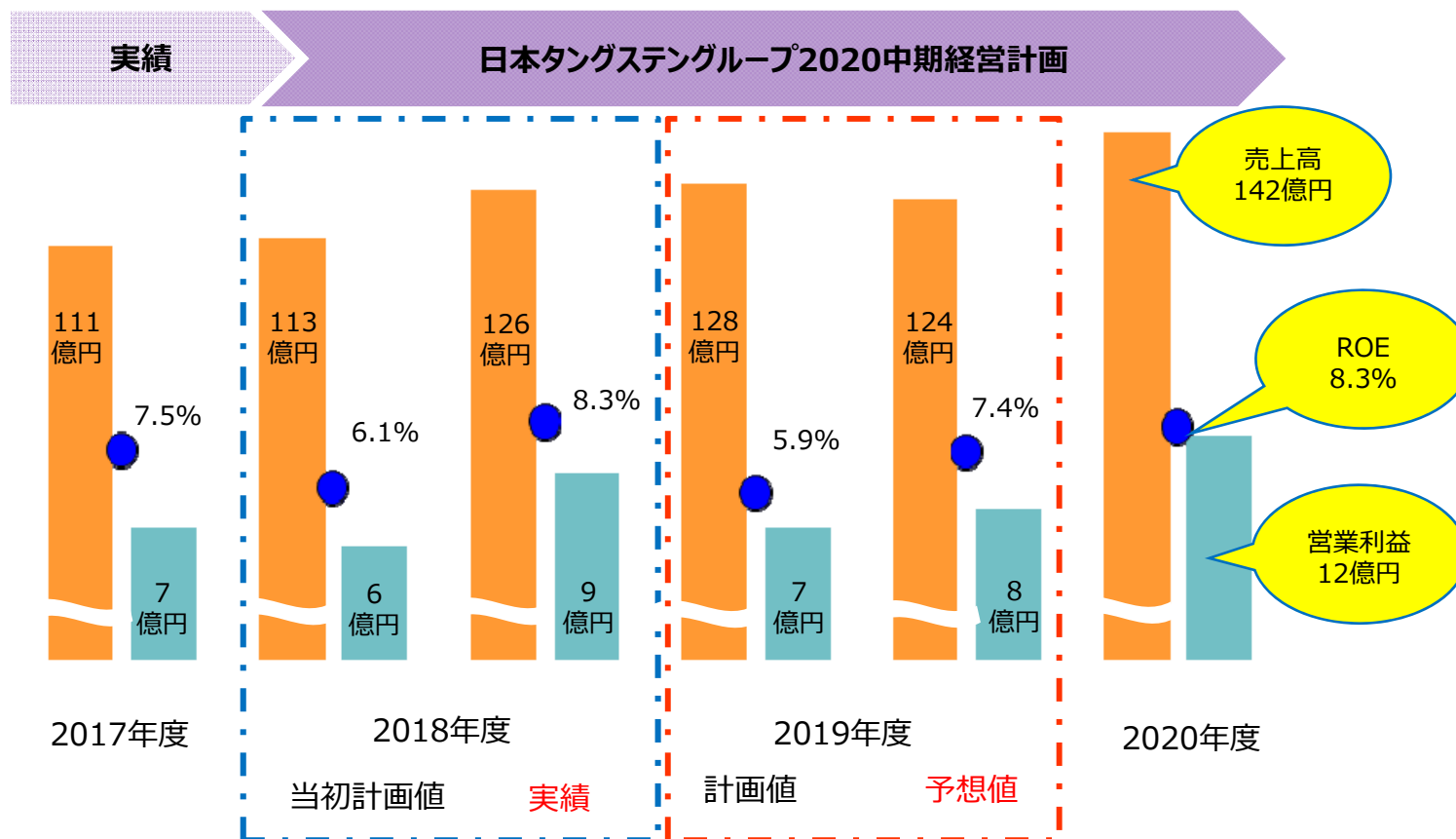
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
衛生・医療	18	26	34	39
半導体・電子部品	23	23	26	31
自動車	28	29	29	29
産業機器	11	9	16	22
インフラ	10	9	11	13
照明・その他	21	17	12	8
計	111	113	128	142



2020中期経営計画

● 計数計画

連結業績目標の推移



● 2020中計経営計画の主な注力製品

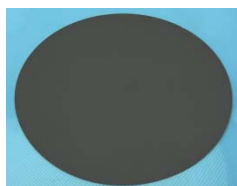
衛生・医療

NTダイカッター
タングステンリボン



半導体・電子部品

耐プラズマ材料製品
プラズマ電極



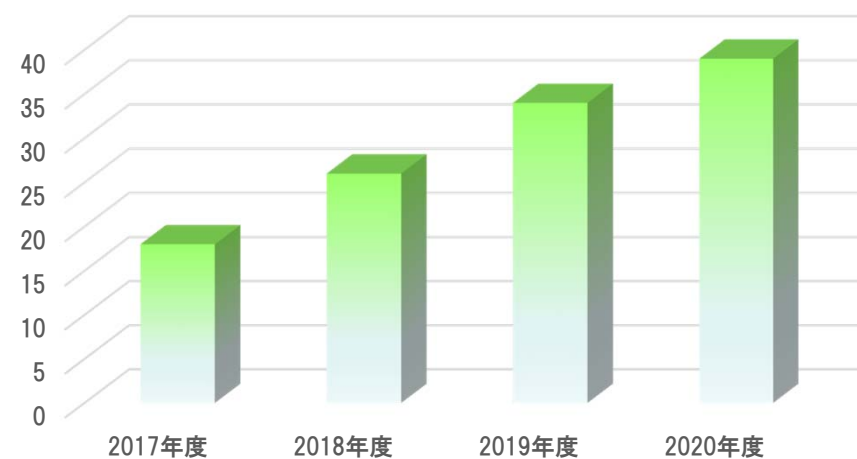
自動車

抵抗溶接用電極
EV用接点製品



■ 衛生用品・医療

衛生用品・医療分野の売上計画(億円)



衛生用品



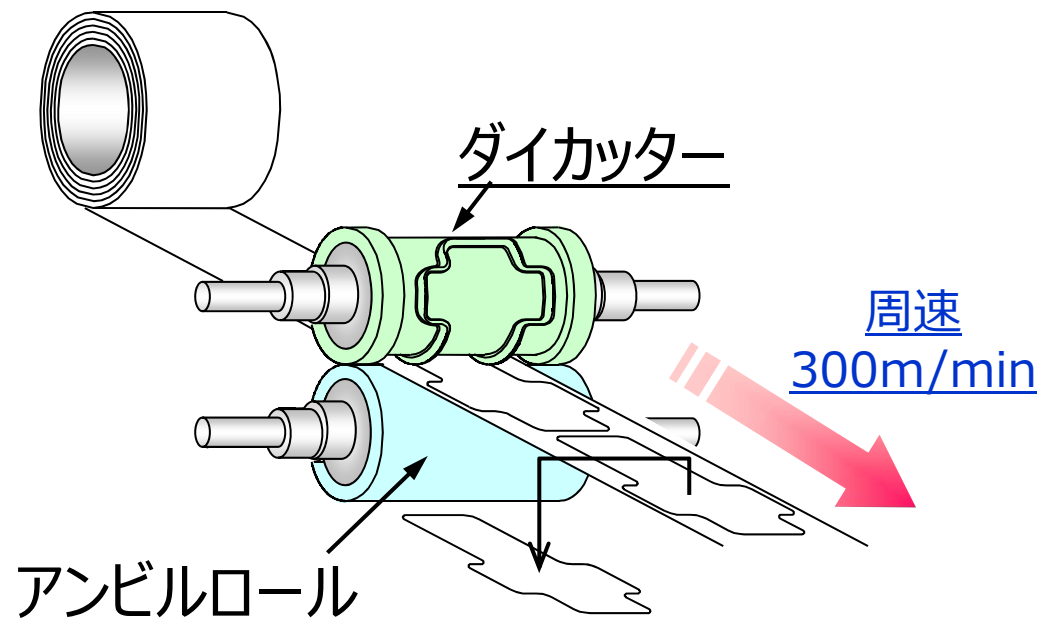
NTダイカッター

医療



タンゲステンリボン

NTダイカッター

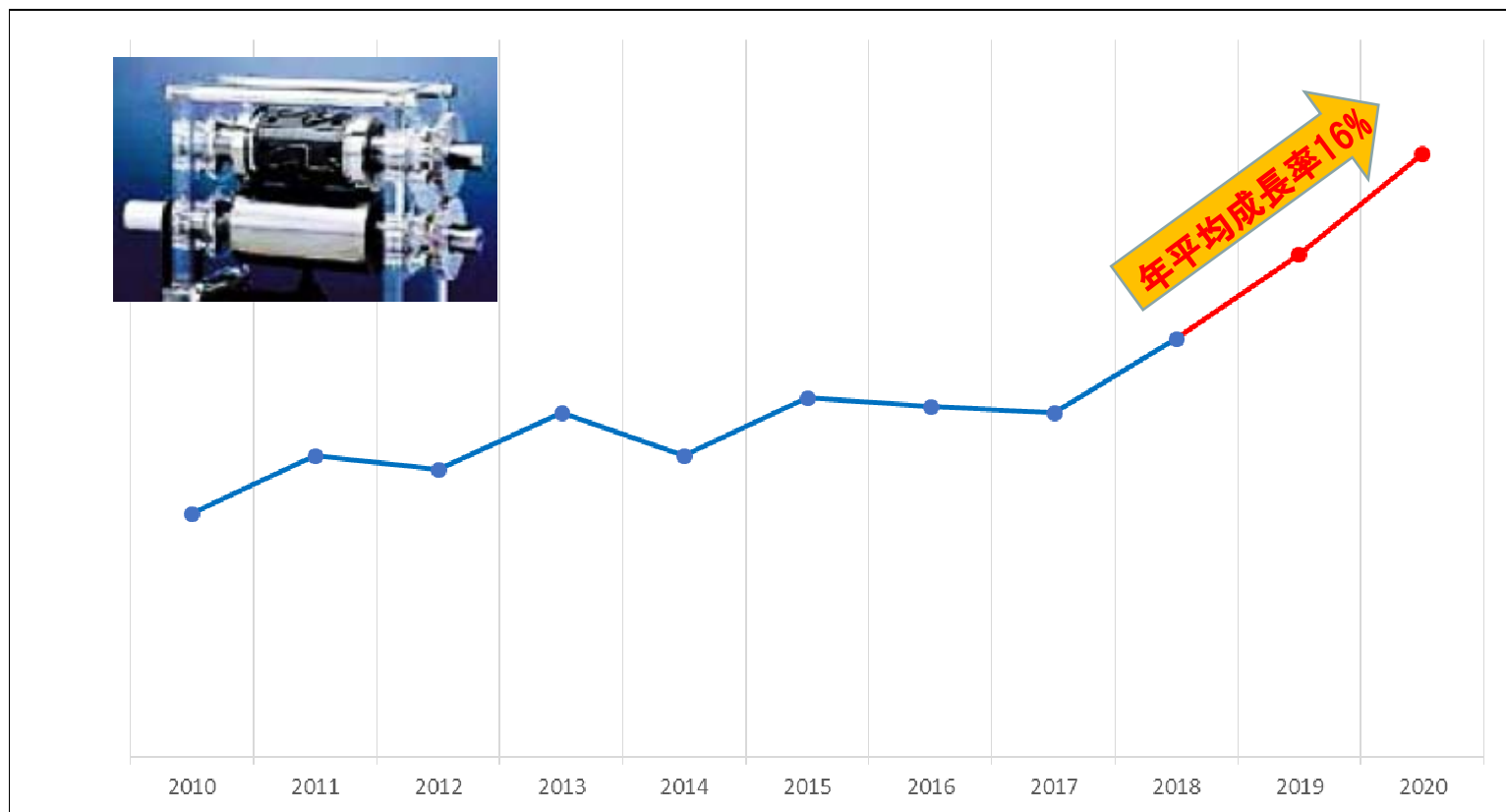


NTダイカッターは1986年、世界に先駆けて、独自の粉末冶金・高精度加工技術により商品化された高性能超合金製ロータリーカッターで、不織布・紙・ポリマー・金属箔などの高速輪郭加工が可能です。

紙おむつ・ナプキン製造用カッター(超合金)の**グローバル市場で高いシェアを誇る**当社の主力製品です。

NTダイカッター成長予測

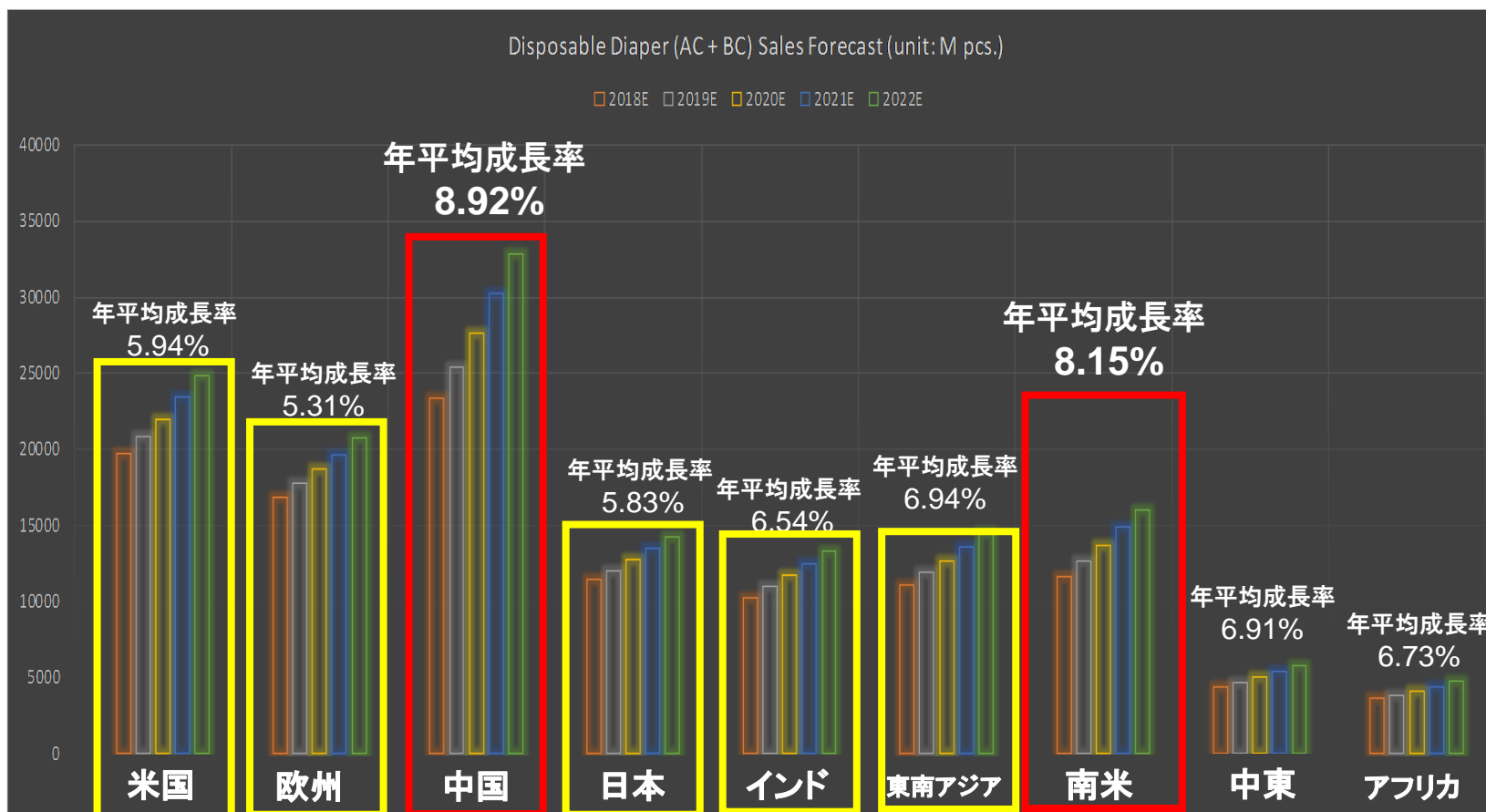
NTダイカッターは2018-2020で年平均成長率16%と拡大する見込み



NTダイカッターの成長予測2010-2020 (当社調べ)

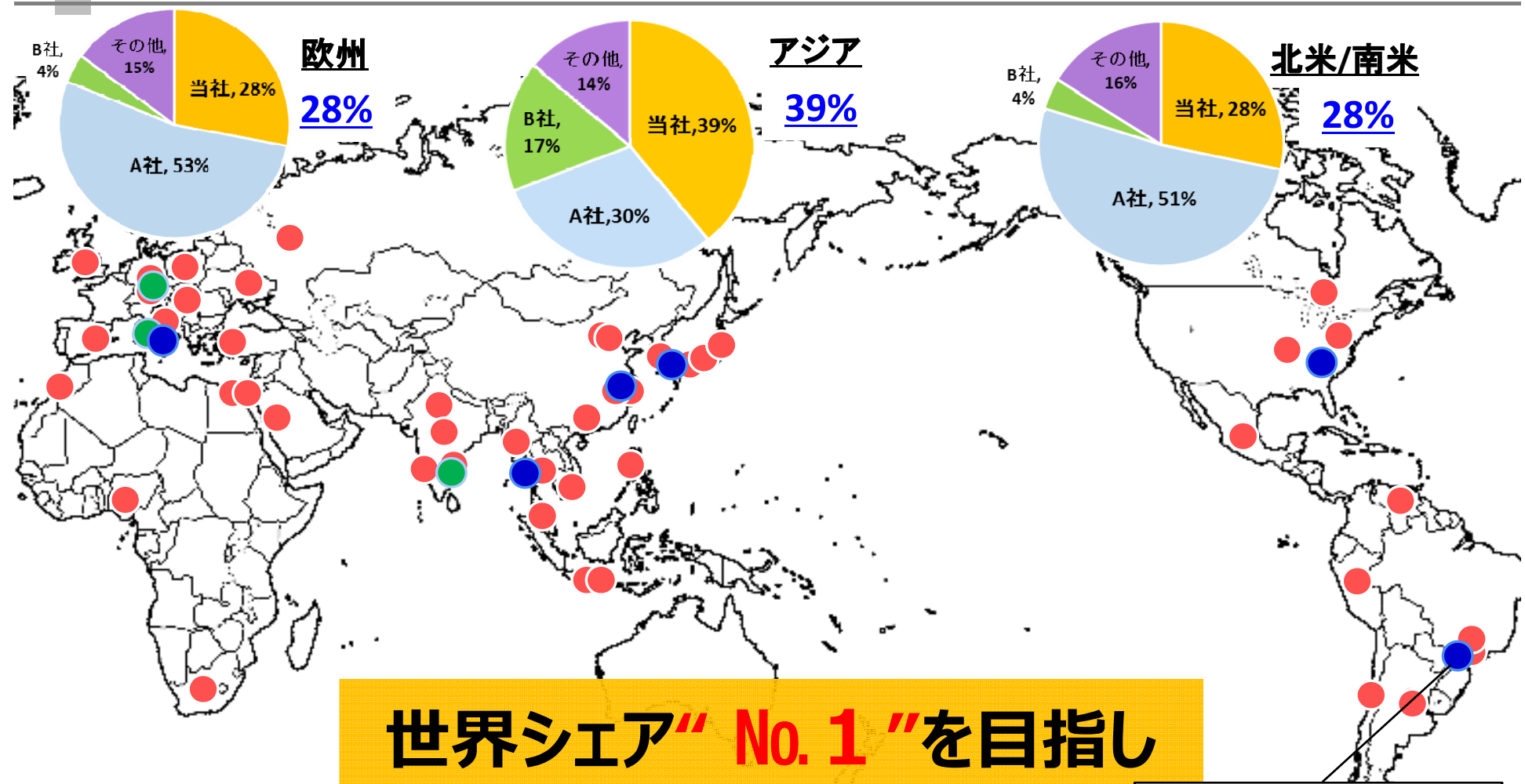
紙おむつの市場成長予測

- ◆地域別の年平均成長率は、①中国、②南米の市場が高い
- ◆製品別では、大人おむつ製品の成長が期待される ⇒大型ダイカッター製品の開発



大人・子供おむつの地域別市場成長率予測 2018-2022 (当社調べ)

① グローバル戦略



**世界シェア“ No. 1 ”を目指し
グローバルに展開する**

ブラジル子会社を設立
(2019年10月操業開始予定)

グローバル市場のお客様 (●) ニーズに対応し、販売拠点を展開し、アフターサービス拠点 (●:グループ会社 ●:協力会社) を充実させることで、更なるシェアアップを目指します。

②生産能力強化

N T ダイカッターの生産能力増強・今後の新製品増産を目的として、
建屋を増築し、2018年5月に稼働を開始。

建屋の概況

- (1) 所在地 基山工場
- (2) 建築面積 約4,100㎡
- (3) 生産開始 2018年5月
- (4) 投資総額 約10億円

生産能力

今回の増築により、N T ダイカッターの
生産能力は現在の倍になる予定



増築部分

③イノベーションの提案

CCアンビルロール (Cemented Carbide Coated Anvil Roll)

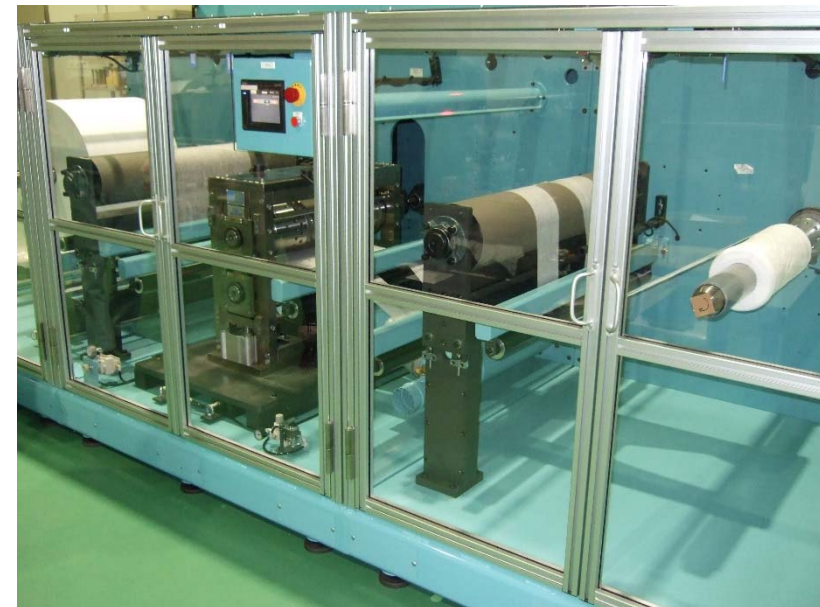
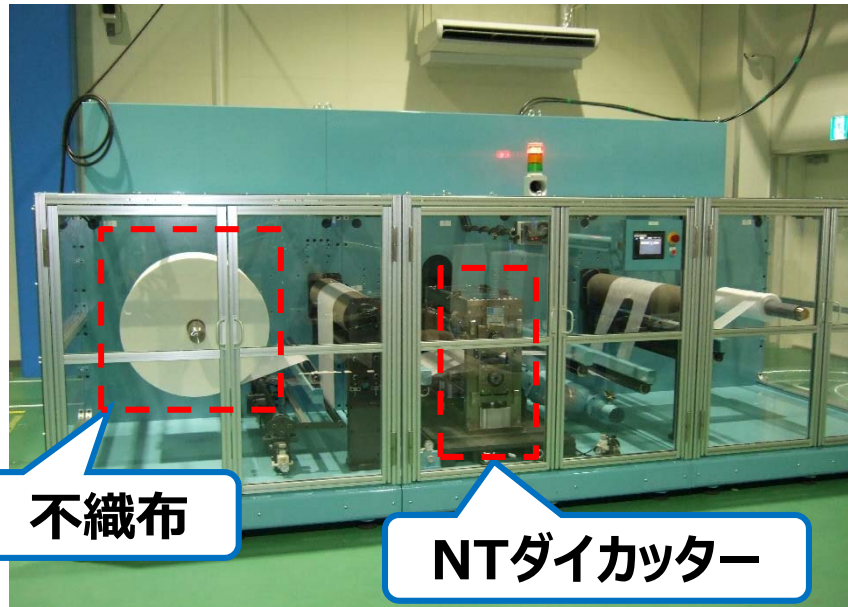
- ・ CCアンビルロールは、アンビルロール表面に緻密で高硬度な**超硬合金コーティング層**を有する当社独自の製品です。
- ・ ロータリーカッターの刃先を優しく受け止め、優れた耐久性を併せ持つことで、シャープな切れ味、長寿命、刃先損傷トラブル防止、外部環境の影響を受けにくい、などの優れた特徴をもっています。
- ・ 世界中のサニタリー工場や様々な生産ラインで、高い信頼と評価を得ています。(JPN Patent No.5797408, No.6209300)



④品質・顧客サービス

2019年1月に、NTダイカッター検査設備として、テストライン装置を導入しました。お客様と同じ生産条件（不織布・生産速度など）で稼働させ、温度上昇や切断性を検証し、品質を向上させます。

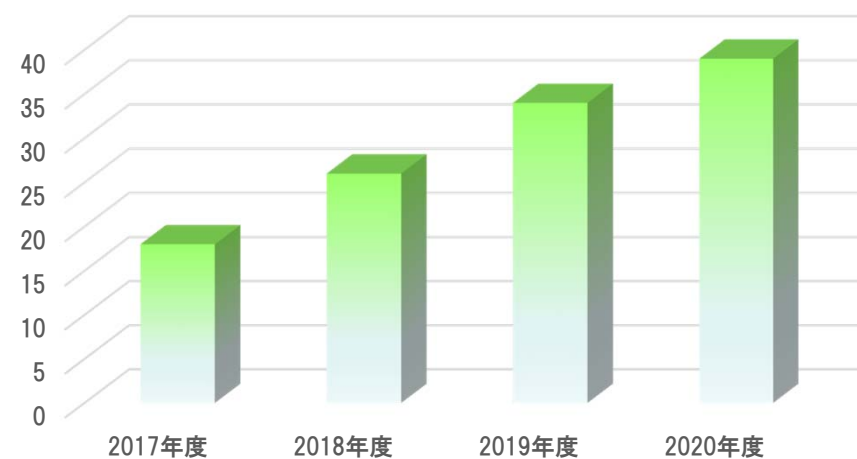
今後、需要拡大が見込まれる大人おむつ用大型ダイカッターの稼働も可能です。
（不織布最大幅：1m、 運転速度Max：600m/min）



1月11日付の日本経済新聞朝刊に「NTダイカッターテストライン装置の導入」の記事が掲載されました。当社のホームページ（https://www.nittan.co.jp/topics/topics_page_1_439.html）でもご確認ください。

■ 衛生用品・医療

衛生用品・医療分野の売上計画(億円)



衛生用品



NTダイカッター

医療

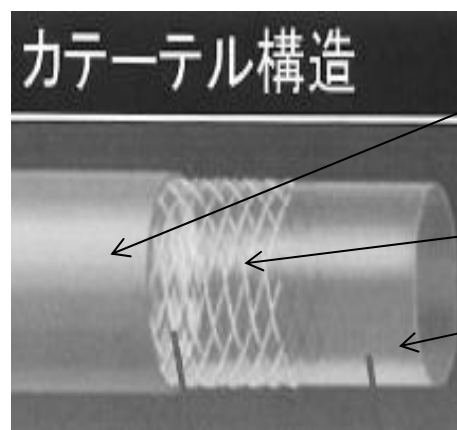
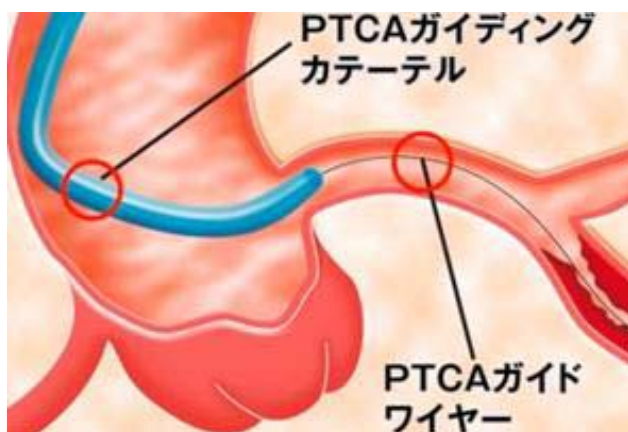


タンゲステンリボン

タングステンリボン

— 体にやさしい(低侵襲)医療に役立っています —

血管狭窄(きょうさく)手術



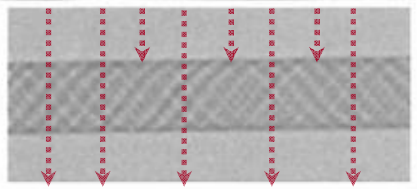
外層樹脂

金属製ワイヤー

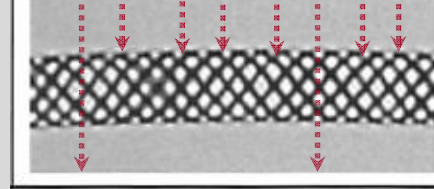
内層樹脂

X線

ステンレス 25 x 150 μ m



タングステン 25 x 150 μ m

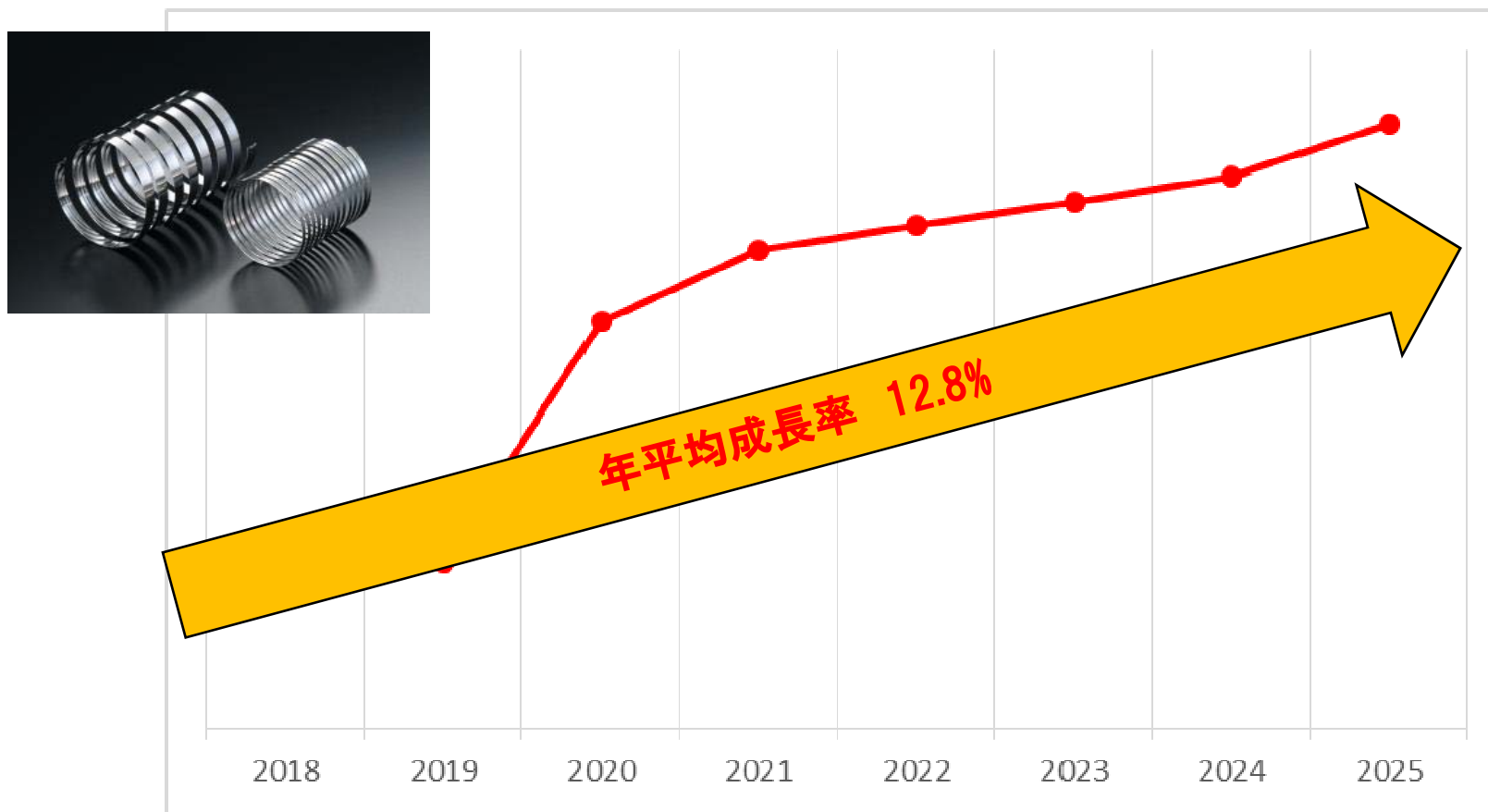


* タングステンは鉄の2.5倍の重さがあり、その特徴で、同じ条件下でX線を照射したモニターでは2.5倍クリアに見えます

* X線照射量を減らすことで、体の負担が軽減されます

低侵襲治療の市場成長予測

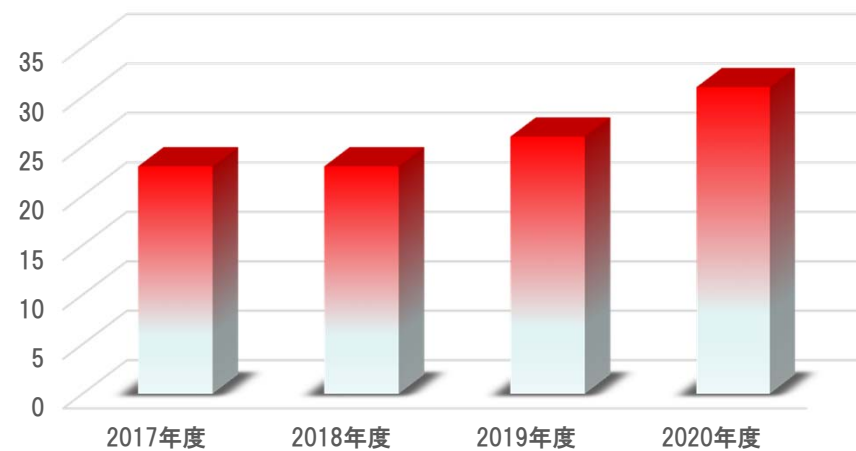
- ◆低侵襲治療の市場は2018年－2025年に年平均成長率が12.8%で拡大すると予測されています



低侵襲治療の市場成長率調査（2018-2025）（当社調べ）

■ 半導体・電子部品

半導体・電子部品分野の売上計画(億円)



半導体



半導体製造
装置部材

電子部品

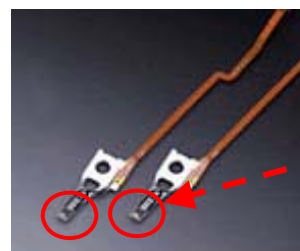


ハードディスク
ドライブ用
磁気ヘッド基板

ハードディスクドライブ（HDD）用磁気ヘッド基板



● HDDの内部構造



データ記録に使用されるHDDに当社の磁気ヘッド基板が用いられています。

現在は、データセンターなどで使用されるニアライン向け大容量HDDの需要が伸びています。

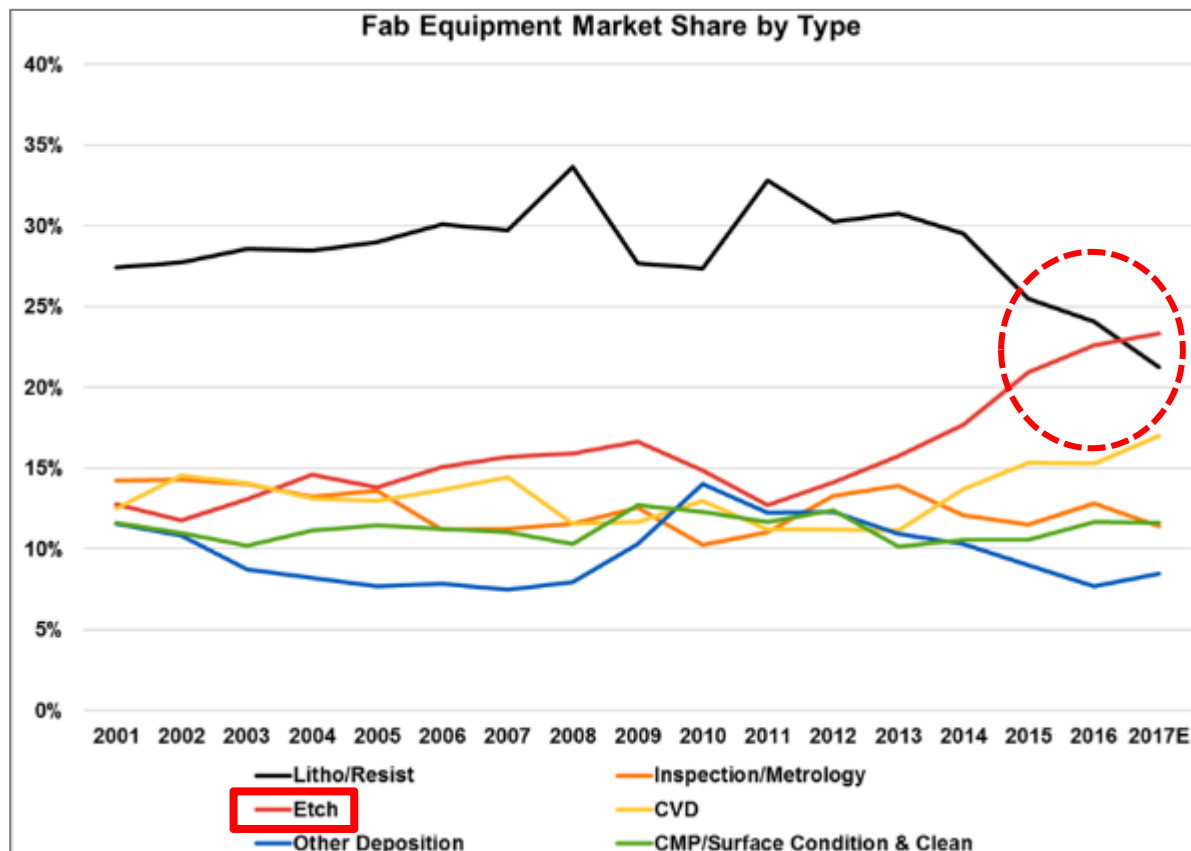
当社の磁気ヘッド基板は**世界シェア75%**（自社推計）となっており、世界中で高い評価をいただいています。

半導体製造装置部材の市場戦略



エッチング装置と露光装置の割合

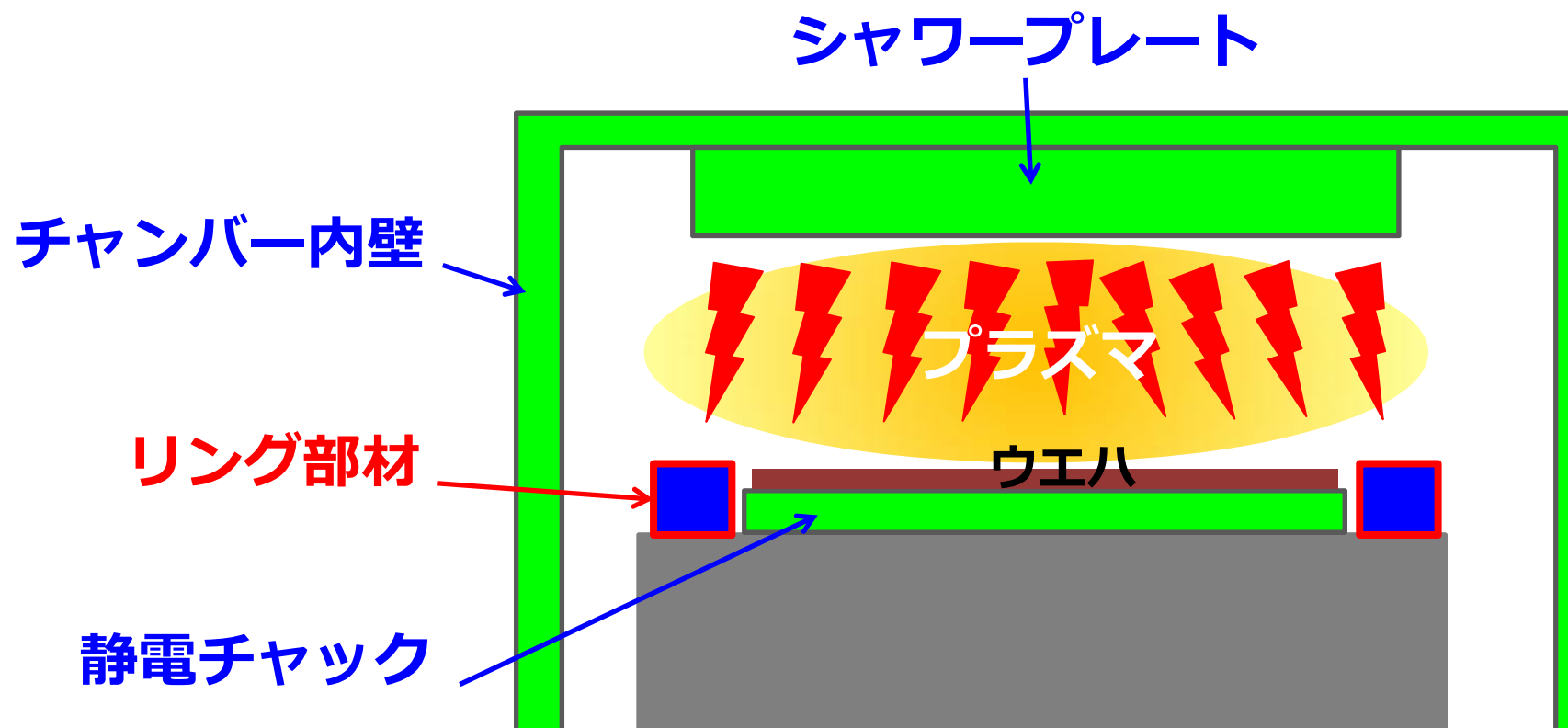
- ◆ 2017年、エッチング装置の売上規模が初めて露光装置を上回りました
- ◆ 半導体の微細化・多層化に伴い、今後もエッチング装置市場の拡大が見込まれます



伸長するエッチング装置市場に、当社の耐プラズマ部材を投入する。

※出典：SEMI / SEAJ WWSEMS

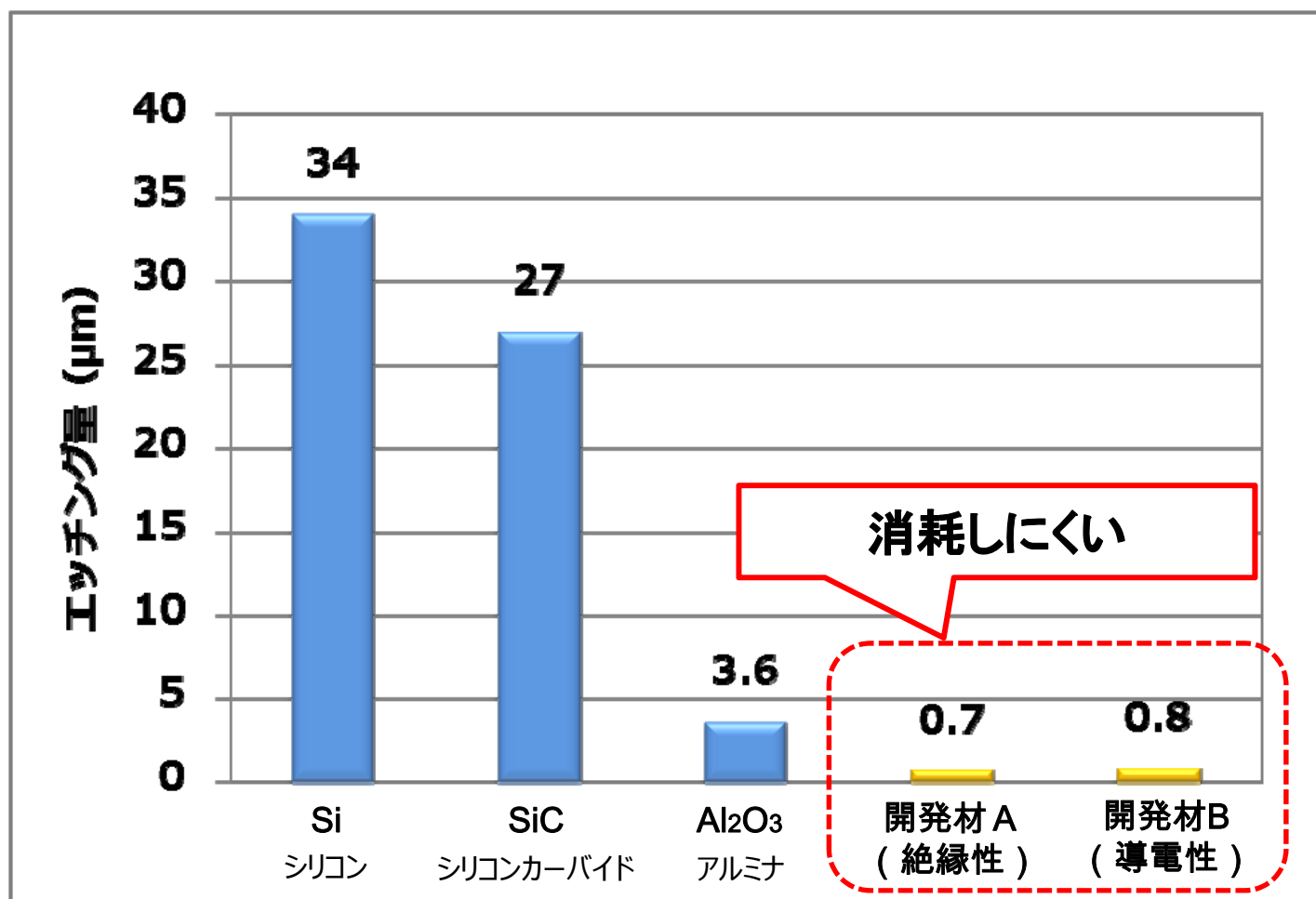
プラズマエッチング装置へのセラミックス応用例



半導体製造用プラズマエッチング装置の模式図

プラズマ耐性に優れた特殊セラミックス

各種セラミックスのプラズマ耐性



■ 自動車市場の製品紹介

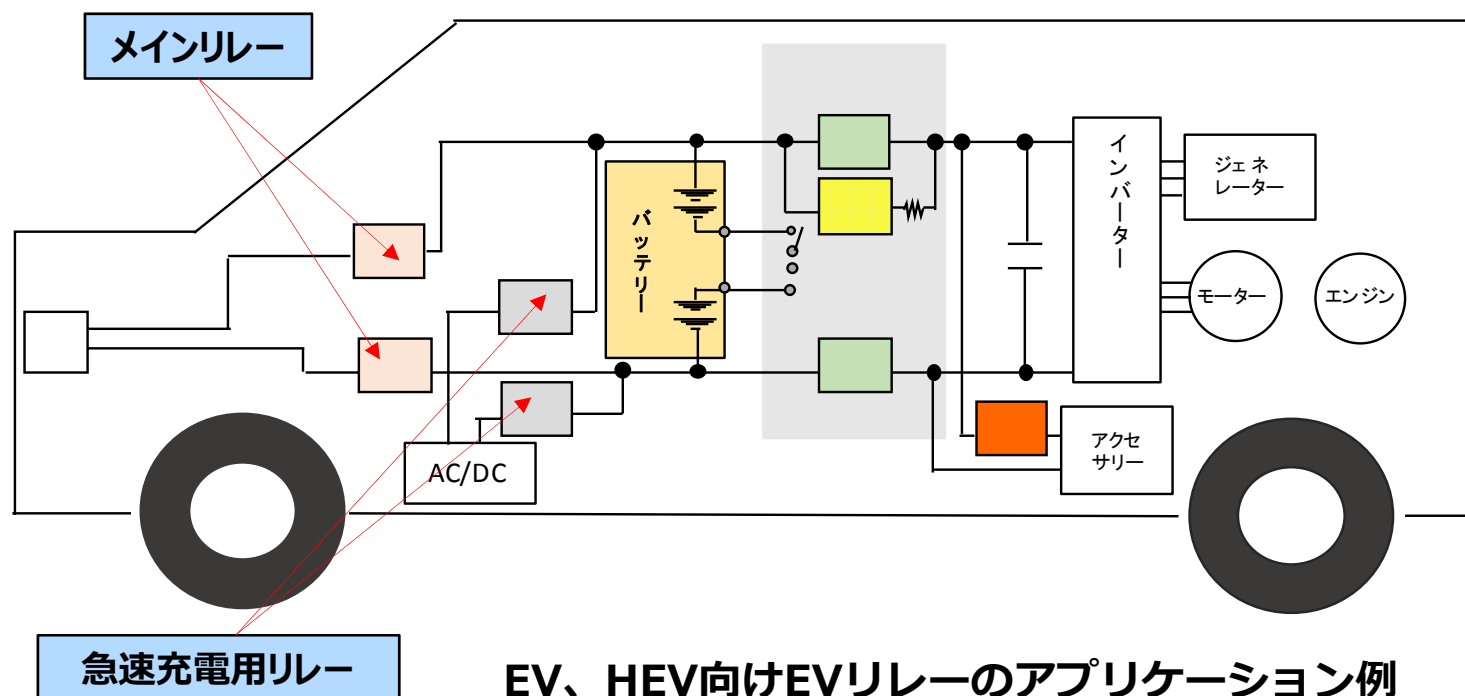
自動車

抵抗溶接用電極 EV用接点製品



EV用接点製品

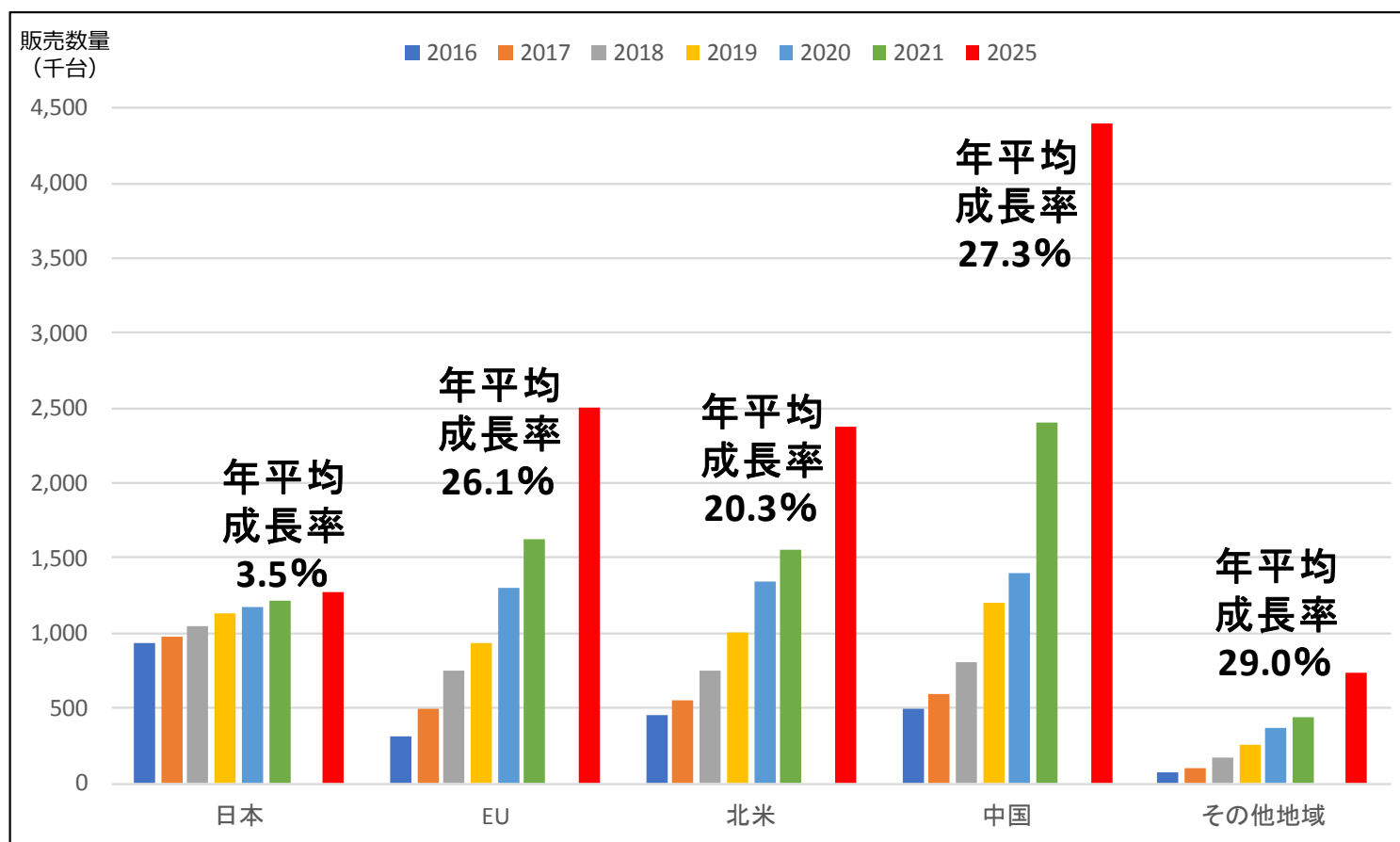
EV用接点製品は、主にEV自動車で使用され、事故などの緊急時にバッテリー、モーターの電流を瞬時に完全に遮断するメインリレー用接点や急速充電用のリレーに使用されています。



EV、HEV向けEVリレーのアプリケーション例

電気自動車の市場成長予測

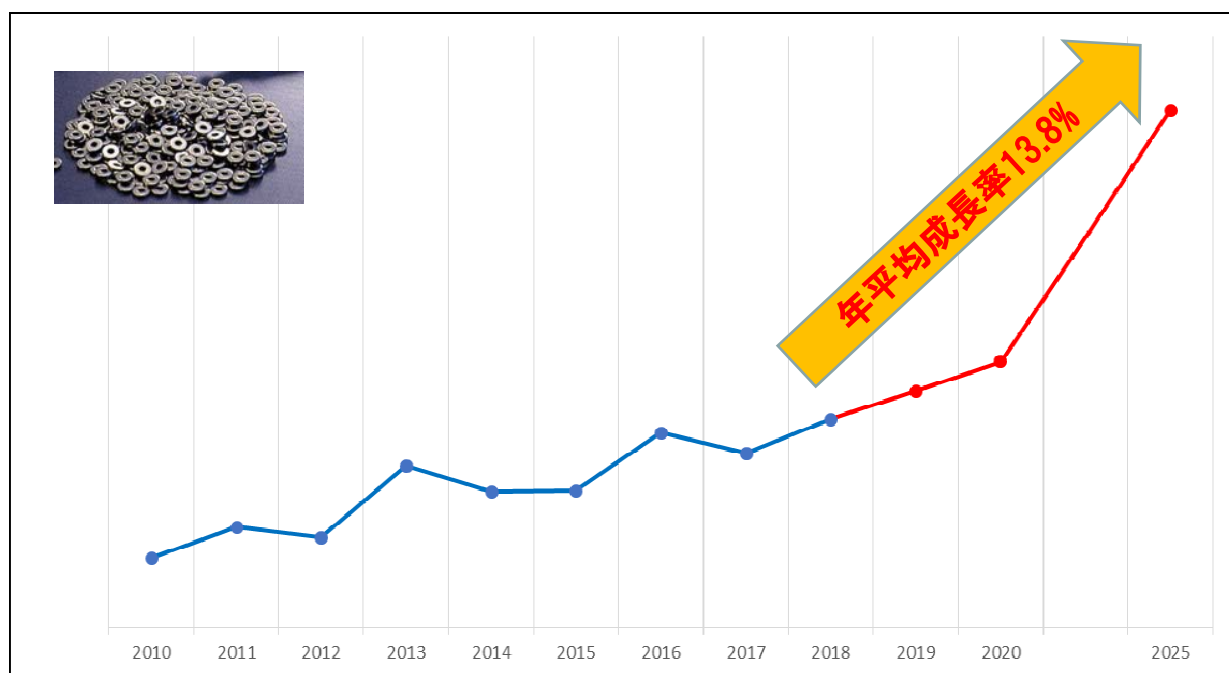
- ◆グローバルでの2016年－2025年の年平均成長率は19.5%と拡大するとみこまれます
- ◆地域別の年平均成長率は、中国、ヨーロッパの市場が高い



電気自動車の地域別市場成長率予測 2016-2025 (みずほ銀行産業調査部調べ)

EV用接点製品の成長率

EV市場の拡大とともにリレー用接点も増加する見込み
当社のEVリレー用接点も、2018-2025で年平均成長率13.8%と拡大する見込み

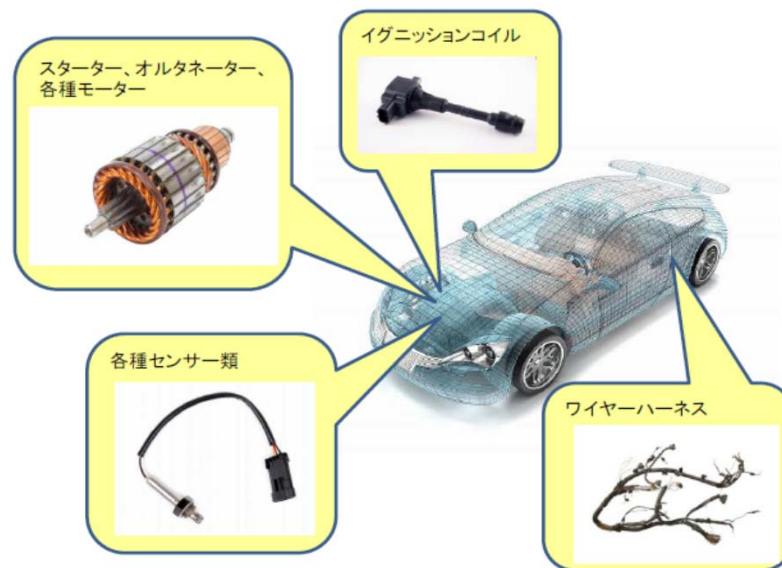
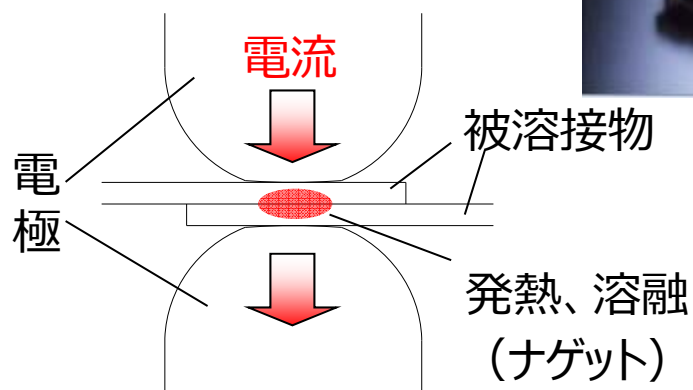


EV接点の市場成長率予測 2010-2025 (当社調べ)

2019年に生産能力を**1.6倍**にする設備投資を実施

抵抗溶接用電極及びEV用接点製品

抵抗溶接のイメージ図



タングステン系の電極は、主に自動車電装部品の**接合工程**で用いられています。

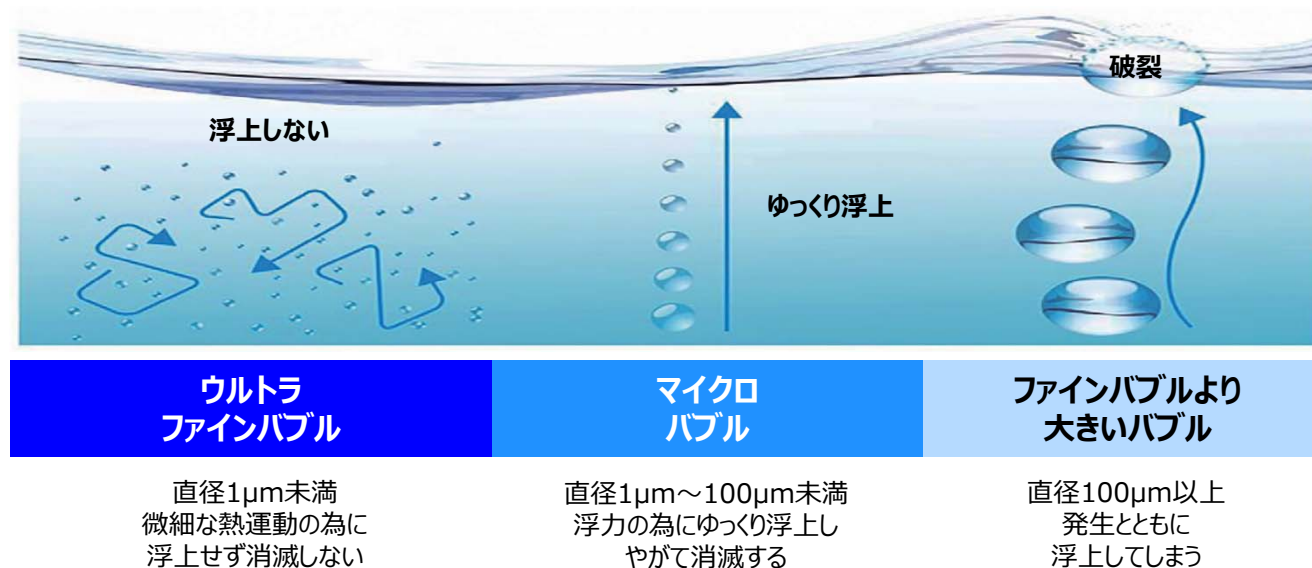
当社の抵抗溶接用電極は長寿命化や生産効率の向上に寄与しています。

ウルトラファインバブル クーラントシステム

ウルトラファインバブルとは……

私達が日常目にする泡よりも小さく、直径0.1mmより小さな泡をファインバブルと呼びます。さらに $1\mu\text{m}$ ~ $100\mu\text{m}$ をマイクロバブル、 $1\mu\text{m}$ 以下をウルトラファインバブルと呼び区別しています。マイクロバブルは目で確認できますが、ウルトラファインバブルは肉眼で見ることができない大きさです。

ファインバブル協会では、様々な効果が見出されており、洗濯機など家電機器などへも応用され始めています。

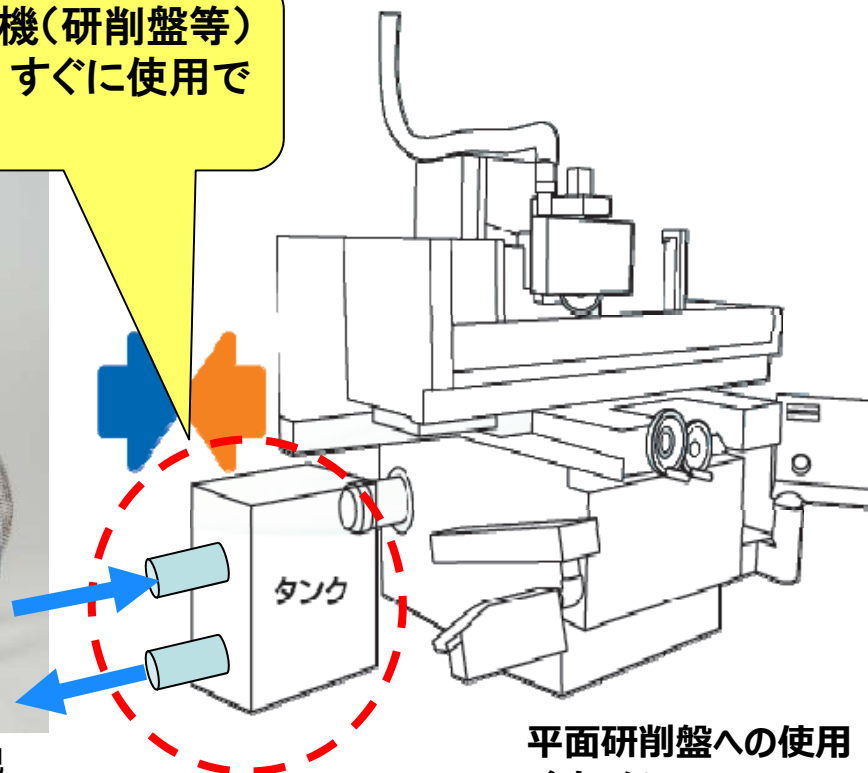


ウルトラファインバブル（UFB）クーラントシステム

既存の加工機（研削盤等）に接続して、すぐに使用できます。



ウルトラファインバブルクーラントシステムの外観



平面研削盤への使用イメージ

- ・研削/切削能率は **140%以上**の改善効果となります。
- ・**砥石の寿命延長**と臭気防止の効果があります。

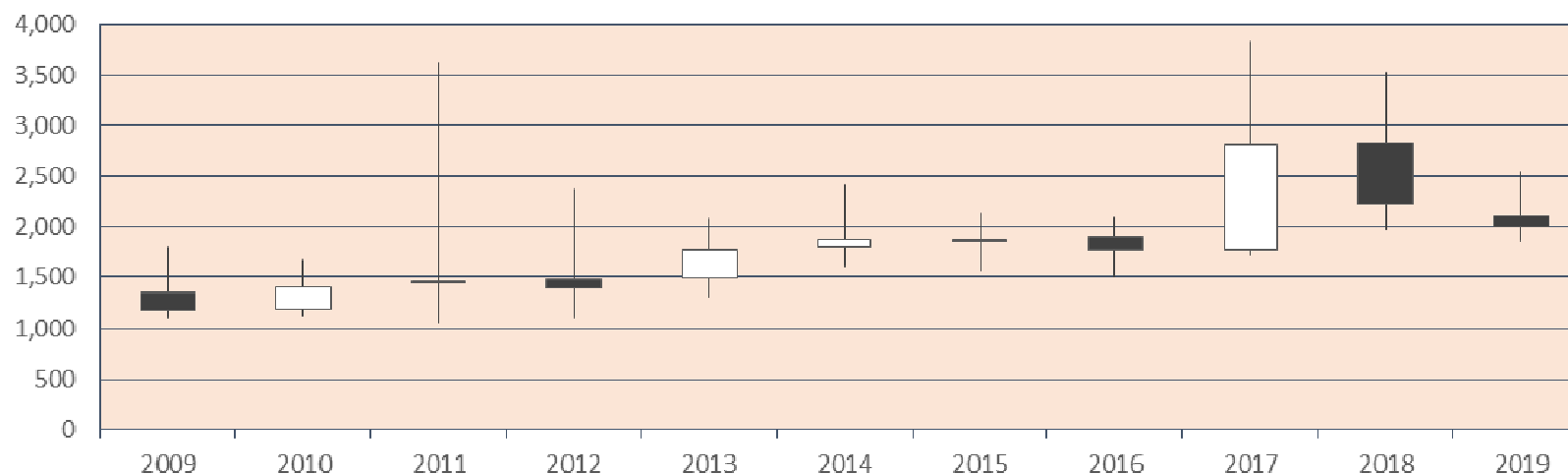
1. 会社概要
2. 事業内容
3. 業績の概要（2020年3月期第1四半期）
4. 剰余金の配当、配当方針
5. 2020中期経営計画
- 6. 株式の状況**

株式の状況

株式指標	発行済株式総数（19年3月）	2,577千株
	浮動株比率	63.7%
	株価 （9月3日）：売買単位100株	2,003円
	1株あたり純資産（20年3月期第1四半期）	4,096円61銭
	PBR ：株価純資産倍率	0.49倍
	1株あたり純利益（20年3月期予想）	304円82銭
	PER ：株価収益率（20年3月期予想）	6.57倍
	1株あたり配当金（20年3月期予想）	85.0円
	配当利回り （20年3月期予想）	4.24%

株価の推移（2009-2019）

（単位：円）



ご静聴ありがとうございました。

本資料は情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

また、掲載されている情報は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。

従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社の内部要因や当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。

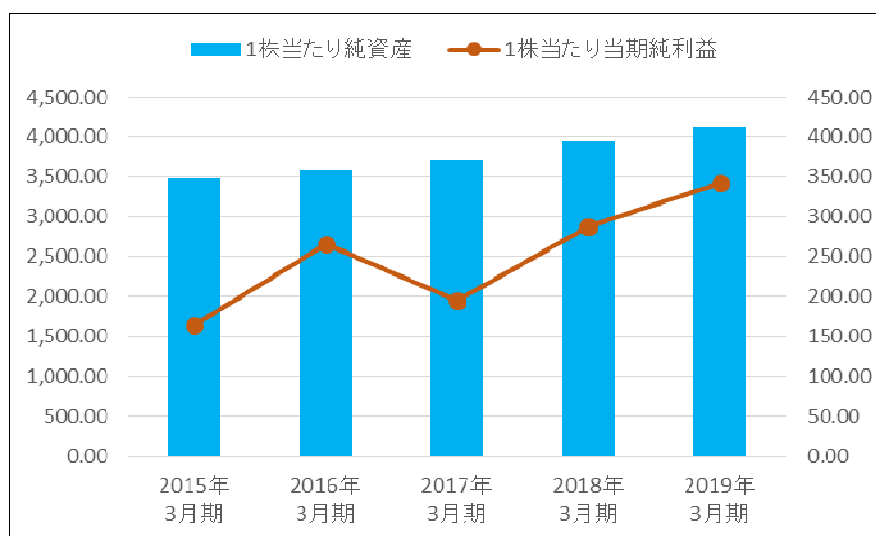
投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

(参考) 業績の概要 (連結)

■ 経営指標

区 分	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期
1株当たり純資産 (円)	3,483.29	3,582.89	3,715.00	3,949.26	4,118.69
1株当たり当期純利益 (円)	164.23	266.45	195.02	288.51	342.80
自己資本比率 (%)	52.70	58.30	60.20	59.20	61.00
自己資本利益率 (ROE) (%)	4.90	7.60	5.30	7.50	8.50
総資産経常利益率 (ROA) (%)	2.30	5.10	3.90	6.30	6.80
売上高営業利益率 (%)	1.80	6.20	4.70	6.80	8.10

■ 1株当たり純資産・1株当たり当期純利益



■ 自己資本比率・ROE・ROA・売上高営業利益率

